

予算の主な使い道を

平成9年度当初予算

一般会計	280億7千万円
特別会計	95億6千322万円
企業会計	116億7千450万円

先号では、平成9年度の当初予算と市長の施政方針をお知らせしました。

今号では、市の主な30事業をあげ、予算の使い道をお知らせします。

お知らせします

1 国際交流事業の推進

昨年7月に姉妹港提携をしたニュージーランドのギズボーン市との交流事業を進めるため、その推進組織である「姉妹港委員会」を支援し、両市の友好関係を一層深めていきます。

また、国際交流員の設置とともに、蒲郡国際交流協会などへの支援を引き続き、進めていきます。



ねんりんぴっく

(第11回全国健康福祉祭)

プレ大会の開催への支援

高齢者を中心とした、スポーツ・文化・健康・福祉等の総合的なイベント。平成10年10月31日から11月3日までの4日間にわたり愛知県下で開催されます。

本市では、ゲートボールの開催が決まり、今年の10月31日から11月1日まで、プレ大会が開催されます。

3

'97トライアスロン・ワールドカップ蒲郡大会開催への助成

7月6日に競艇場一帯特設コースで開催されます。世界の超一流選手が勢揃いし、水泳、バイク、ランの熱い闘いを披露。西暦2千年のシドニーオリンピックの正式

種目にもなっており、世界各国から注目を集めています。

なお、昨年度の国内最優秀選手賞を受賞したニデック勤務の細谷はるなさんも参加します。

4

ファックス行政情報サービシステムなどの導入

必要な行政情報をファックスです。いつでも取り出せるというものです。

当初の情報としては、一昨年県下の自治体に先駆けて情報発信したインターネットのホームページをパソコンがなくても取り出せるようにします。今後は順次、情報の内容を充実していきます。

また、地域と行政との情報を密にするため、市内11カ所の公民館に、ファックスを設置します。

5 情報化への対応

高度情報化に対応するため、市役所のコンピュータを結ぶ市内ネットワークシステムを導入します。

また、昨年の西浦小に続き、東部・南部・竹島小や勤労青少年ホームにパソコンを設置します。

さらに情報化フェアを開催します。

